

青年の父

山本瀧之助の足跡を訪ねて

【5】己に克てよ

瀧之助が心血を注いで書き上げた「田舎青年」は... 残り借金が残った。借金は土地を売って返済した。11月29日の日記に「八十円ヲ棒ニフレリ、馬鹿ナコトヲシニケリ」と嘆いている。そのころから母親の健康状況が悪化、翌年1897年(明治30年)1月8日死去した。その年に、離婚問題が起き、年末には眼病に悩まされ、瀧之助の人生にとって最も窮地におちいった時期であった。この状況を跳ね除けようと1898年(明治31年)の元旦に「己に克てよ」と題する一文を日記に書いている。「我ヲ殺スモノハ我ナリ 我ヲ活カスモノモ我ナリ」ではじまり「キョロキョロスナ 愚図々々スナ ショロショロスナ」と続き、「要スルニ己ニ克テヨ」と自己を励まし、奮い立たせようと努力している。

翌年の暮れには、五百木の所属する新聞「日本」に沼隈生(瀧之助のペンネーム)の名で「日本青年会設立の議」と題する一文を投稿、新聞の愛読者で紙上青年会の設立を呼びかけた。その結果約500人の加入申込みがあり、やがて会員達が各地で会合を開き、交流をするに至った。これが瀧之助が全国的な青年会をつくる運動の最初であった。1901年(明治34年)瀧之助の人生の転期となる念願の上京する機会を得た。

執筆：上田靖士(山本瀧之助研究会会員)



南部こんなんやるDay



南部管内の講座のご案内です。みなさまどうぞご参加ください。

《南部管内コミュニティセンター合同事業 お知らせ》

Hartfull Message 2011 ~いのち・ぬくもり・つながり コンサート~

とき 12月17日(土) 13:30~

ところ 瀬戸コミュニティセンター

出演 ながわほいくしよ 長和保育所の子どもたち(歌と踊り)

ホロコースト記念館のみなさん(人形劇)

58酒場(三線・歌とお話)

入場無料 手話通訳あり

主催 南部管内コミュニティセンター

問合せ 山手コミュニティセンター

951-5670

瀬戸コミュニティセンター

951-1809



第29回城西校区人権学習講座

第3講座：映画「八日目の蝉」

とき 12月3日(土) 18:30~

ところ 山手小学校体育館

入場無料

21年前の誘拐事件。犯人は父の愛人。

連れ去られたのは、私。

私はその人を本当の「母」だと信じて生きてきた。

主催 城西校区人権学習講座実行委員会

問合せ 南部生涯学習センター 980-7713

ポ～ノさんのささやき

11月は『児童虐待防止推進月間』です。子どもへの虐待は、いつでも、どんな家庭でも起こり得る問題です。虐待は、子どもの心身の発達に悪影響を及ぼすだけでなく、生命を危機にさらします。虐待から子どもを守るためには、早期発見、早期対応が重要です。子どもたちの笑顔を守るため、一人ひとりに何ができるか考えてみませんか。

児童虐待の相談(通告)先

福山市保健福祉局児童部子育て支援課

928-1053



視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。